



辰野町 議会だより



Tatsuno Town
Council News

～後半に向けて、新体制となりました～

第**50**号

平成25年(2013年)
8月1日

第4回議会報告会で、テーマによるはじめての意見交換がおこなわれました



議会報告会



議会広報委員会の視察研修

今号の記事

- ◎臨時議会・議会構成など
- ◎後半議会に向けての抱負
- ◎議案審査
- ◎陳情請願審査
- ◎第4回議会報告会特集

就任ごあいさつ



議長 篠平良平

地方分権一括法が施行され、議会の役割が益々重要になるなか、2011年3月に辰野町議会基本条例が可決され、積極的に議会改革に取り組む姿勢を明確にしました。時代に合った議会の在り方を模索し、身近なところから、気の付いたことから、地についた議会改革を着実に進めることが重要です。



副議長 宮下敏夫

自己研鑽を深め、時代の変化に柔軟・迅速に対応できる議会、町民に信頼される議会を目指し、更なる議会改革・活性化に取り組みで参ります。

臨時議会

5月1日に臨時議会が開催され、正副議長選任などが行われました。

本会議に先立つ全員協議会において、議長に立候補した篠平良平、根橋俊夫の両議員、副議長に立候補した成瀬恵津子、宮下敏夫両議員が所信を表明し、本会議での選挙に臨みました。

選挙は単記無記名による投票でおこなわれ、議長選挙では、篠平議員が7票、根橋議員が6票を獲得し、篠平良平議員が当選しました。副議長選挙では、宮下議員が7票、成瀬議員が6票を獲得し、宮下敏夫議員が当選しました。

また、議会構成が別記のとおり決まりました。

議長選立候補所信

篠平良平

辰野町議会基本条例の趣旨を生かしながら、次の2点について取り組みます。

1. 議会改革、活性化を目的とした特別委員会の創設、提案型議会と位置づけ、議員から様々な活性化策を提案してもらい、議会の永遠

のテーマである議会改革・活性化に取り組みます。

2. セミナーの開催
議会や地域住民が抱える様々な課題や町政の重要案件などをテーマに、議員や町民を対象とした講演会、研修会などセミナーを適宜開催していきたい。

議長選立候補所信

根橋俊夫

道州制には反対し、自立した町づくりのために頑張ることを基本とし、議会への信頼を高めるため、二元性のもと、町側と独立した視点で、常に批判者の立場で町政に臨みます。

また、町長と議会は常に対等の立場で議論して是非を判断し、癒着ととられるような言動は慎みます。

議会改革への取り組みでは、議会報告会の充実、諸団体との懇談、地域に向かいの懇談会を開催し、そこで出された意見を町政に反映させるとともに、広域連合議会等では、議会を代表して積極的に発信していきます。

副議長選立候補所信

成瀬恵津子

次の4点について所信を表明します。1. 議会の慣例を見直すなど足元から改善し議会を刷新します。2. 議員一人一人が町民の目に見える議会活動をする。議会報告では全議員が発言する。3. 議員一人一人の自己研鑽をしっかりとやる。4. 議会として町に対して要望すべきことはしっかりと要望していく。

女性議員としてきめ細かな視点で議会に新しい風を入れて働き、町民の声をしっかりと聞ける議会を目指します。

副議長選立候補所信

宮下敏夫

2011年3月に新たに議会基本条例が制定され、実践活動への取組が開始されました。しかし町民からは更なる開かれた議会運営や議会改革が求められています。私は次の4つを推進したいと考えております。1. 議員発議による意見書の提出の拡大。2. 議案に対する議員の採決態度を明確にする。3. 議会広報としての議会だよりの充実。4. 議会内の融和。

私の決意

後半議会に向けてがんばります



1番 徳高 宇治 議席

議会基本条例には守るべき大切な理念が示されています。「議員は自己の能力を高める不断の研鑽を図る使命」「議員は相互に議論を尽くして合意形成に努める」等に意を置き、議会改革に取り組みます。



2番 津子 瀬成 議席

3期10年が過ぎ、振り返りの時となりました。常に初当選の気持ちを持たず、「皆様の為に働かせていただ



3番 俊夫 根橋 議席

く」との思いで、一人の声を大切にしていく議員、信頼される議員、これが何より議員として大切なことではないでしょうか。町民の皆様感謝の気持ちを忘れず、目に見える議会活動を根本に働いて参ります。

長引く不況で生活が厳しいなかで、町政が町民生活を支える施策を実施することや町の発展のための政策を計画することを追及していきます。また、広報委員会の責任者として、わかりやすい「議会だより」の発行やネットの活用など広報活動の充実や、議会運営委員として議会改革のために頑張る決意です。



4番 善業 三堀 議席

少子高齢化の進行と人口減少は避けて通れない課題で、少子化対策は国レベルで推し進める問題です。高齢化は孤立化に繋がり、振り込め詐欺等の犯罪を含め、身の周囲で起きている深刻な問題です。特に女性の特性・能力を生かし、幅広い分野に参画し、活躍して貰える様な環境づくりに邁進して参ります。



5番 清 岩田 議席

「辰野町議会基本条例」が制定され、議会報告会も行われるようになりました。しかし町民の皆さんの議員に対する眼は、依然として厳しいものがあります。チェック・提言機関として、更なる不断の研鑽と日常活動が求められています。これからは町民目線の町政に全力を尽くす事を目標とします。



6番 紀男 崎ヶ矢 議席

2年間、議長として町民の皆様にお世話になりましたことに感謝申し上げます。後半の2年間は、一議員として常に自己研鑽に努め、全体の奉仕者であるという基本理念の基に、住民福祉の向上と安全、安心の街づくりの為に果敢に取り組み、時代の要請に応えて参りたいと思います。



7番 久司 熊谷 議席

残り2年の議員活動は、前半同様「伊北インター周辺の道路整備の推進」に主眼を置いて参ります。羽場交差点改良工事の次のステップの春日街道延伸と東西線延伸および交差点改良は、基本計画図面にて住民説明会が行われています。これらの早期実現とその次の整備計画の方向付けに取組んで参ります。



8番 良子 永原 議席

今、国の悪政のなか町民のみなさんのくらしや経営は、益々大変になっていきます。私はこの間、少ない年金で細々と生活するお年寄りや子供の進学を諦める母子世帯のお母さんなど切実な声を聞いて来ましたが、私は、後半の議会活動を迎えるにあたり、くらしや福祉が優先される町政へと引き続きがんばります。



9番 武男 堀内 議席

今回総務産業委員会副委員長に就任し、その重責を全うする覚悟です。公約の履行と共に辰野町の大きな課題である国道153号線を中心とした交通渋滞解消と、安全確保の推進を行い、少子高齢化に対応した福祉の向上と子育て支援に努めます。住民の声を聴くなかで、課題を把握し、活性化に向けて活動を展開します。



議席10番 船木善司

後半の2年が始まりました。前半2年は、総務産業常任委員長として、諸課題に取り組みさせていただきました。残り2年、まさに議員活動の集大成として、議会運営委員長として、辰野町議会基本条例に則り、適正かつ円滑な議会運営を心掛けて参ります。ご意見ご要望をお寄せください。



議席11番 中谷道文

後半2年に向けて、立候補の際、町民の皆様と約束した、町の活性化対策の推進と観光事業に連動した施策推進に頑張つて行きたいと思ひます。

1、町の活性化に向けた取り組み
2、町の観光立町政策に連動した、開発整備と取り組み強化。
以上2点を主力にし、活動を展開します。

議会構成がかわりました

議長

篠平 良平

副議長

宮下 敏夫

総務産業常任委員会

◎中谷 道文

○堀内 武男

成瀬恵津子 永原 良子

船木 善司 篠平 良平

福祉教育常任委員会

◎三堀 善業

○熊谷 久司

宇治 徳庚 根橋 俊夫

岩田 清 矢ヶ崎紀男

宮下 敏夫

議会運営委員会

○船木 善司

○根橋 俊夫

堀内 武男 岩田 清

議会広報委員会

◎根橋 俊夫

○永原 良子

宇治 徳庚 成瀬恵津子

熊谷 久司 堀内 武男

◎委員長 ○副委員長

委員会活動から

総務産業常任委員会

6月12日に委員会に付託された条例審査1件と陳情4件に付いて審査をいたしました。主な質疑は以下のとおりです。

条例審査

辰野町住民カード条例及び辰野町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は住民基本管理台帳カードの有効期限の10年が到来するため、その処置について改訂するものです。

審査内容

期限切れは何時か。

平成25年8月から発生する。

満了時現住民カードの有効性は。

住基カードは再交付申請をしない限り、住基カードとしては利用出来なくなる。(個人の証明には使用不可)その対応として

陳情審査

地方財政の充実・強化を求める意見書採択の陳情

陳情者

上伊那地区労働組合会議

議長 赤羽 知道

1ヶ月前に該当者宛に案内通知とシール(辰野町住民カード用)を送付し、お知らせする。

住民カードとしての使用は可能か。

辰野町住民カード用シールを貼ることにより、従来の印鑑登録証、コンビニ交付、図書利用券として使用可能。

平成27年12月より始まるマイナンバー移行時の対応は。

住基カードと引換えにマイナンバーカードを交付する。

以上委員会にて全員一致で可と決し、本会議においても原案可決されました。

この陳情は3月定例会にも提案されており、政府は国の政策目的の実現のために、地方公務員の臨時給与減額に係わる地方交付税減額を一方的に押し進めるものであり、地方固有の財源である地方交付税の確保、国と地方の十分な協議の保障、社会保障分野の人材確保、農林水産業の再興、環境対策など増大する財政需要に見合う地方財政計画及び地方交付税総額の拡大を図る陳情です。

辰野町はラスパイルズ指数が100を割っており、交付税の減額に影響を及ぼさない旨の説明を受け、委員からは公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するために意見書提出は必要であるとの意見が出されました。委員全員一致で可と決し、本会議においても原案どおり可決され、国あてに意見書を提出いたしました。
*ラスパイルズ指数
国家公務員の平均給与額を100として算定する地方公務員の平均給与額の指数

■ T・P・P 断固反対に関する陳情

陳情者
上伊那農政対策委員会
委員長 御子柴茂樹
上伊那農業協同組合 代表
理事組合長 御子柴茂樹

この陳情は「今後の交渉において、国益が守れないと判断した場合、即刻、交渉から脱退することを政府として、明確に国民に確約すること」を求める陳情です。

現在交渉中であり、多くの影響が懸念されるが、政府に、国民との約束の順守、情報開示、国民的議論の実施と、交渉が国益に反する場合は、脱退することを求めるものであり、時宜に適切なものとして、賛成多数で採択しました。本会議においても原案どおり可決され、国に意見書を提出いたしました。

■ 農作物被害対策に関する陳情

陳情者
上伊那農業協同組合
代表理事組合長 御子柴茂樹

この陳情は、本年春の凍



霜害を受けた梨の花

霜害等異常気象により被災作物生産者支援のため、「農作物等災害緊急対策事業」の実施より各種支援を講じられたいとの陳情です。

関係者より被害状況の報告や対策状況の報告をうけ、上伊那地区は果樹、野菜、花卉の被害が多く、被害額は1億円、辰野町の被害額は、1,113万円とのこととです。既に共済対策、技術対策、融資対策、利子補給対策等について、JA本部や地区農政対策委員会、上伊那広域連合から陳情書が県に出され、県、国に向けて大きく動きつつあるとの報告に基づき、委員全員一致し「趣旨採択」と決し、本会議においても原案どおり可決されました。

■ 国に対して、消費税中止の意見書を提出することを求める陳情

陳情者
上伊那民主商工会
会長 滝沢 孝夫

この陳情は「アベノミクス」効果で、株高となり、景気が上向きつつあると言われるが「実感出来ない」と国民の81・4%の声（4/21共同通信調）に成っており、雇用・個人消費は依然大変な実態に在り、消費税増税の中止を求める意見書を辰野町議会から提出して欲しいとの陳情です。

■ 審査内容

委員からは、賛成意見として、経済情勢もまだ冷え込みの実態に在り、国民生活に大きな負担増を及ぼし、経済の落ち込みに繋がる懸念が大きいと、陳情のとおり、意見書の提出を行う必要がある。

一方、反対意見として、消費税値上げ反対は理解できるが、法律が公布され、実施に当たっては経済指標に基づき総合的に判断されること。また、1000兆円もの国の大きな赤字をこれ以上放置して次世代に引き継ぐのは問題が多いとの意見が出され、採決の結果賛成1、反対3の採決により、委員会としては「趣旨採択」が妥当であると決しました。本会議において意見書を出され、各々賛否の討論が行われ、採決の結果、原案採択に対し賛成2の少数で否決され、委員会決定どおり「趣旨採択」が妥当であると決しました。

■ 本会議での討論

「消費税増税中止を求める意見書を国に提出すること」を求める陳情」採択に賛成する討論

本陳情は、来年4月から8%に引き上げる予定の国方針に対し、その中止を求める意見書を国に提出を求めるものです。

消費税の増税理由について、政府は、高齢化社会の到来と少子化により財源が

不足することを理由としていますが、この間の経過をみれば、消費税増税分は、大企業や富裕層への減税で帳消しになっており、その一方では、消費税増税により不景気となり、国の税収全体は一貫して減収となつていきます。今回増税すれば国民の懐を直撃し、経済は破綻するとも言われています。よって、本陳情は採択すべきと考えます。

■ 趣旨採択が妥当な討論

消費税率の引き上げは経済状況を好転させる事が条件であり、デフレからの脱却・経済の活性化に向けて総合的な施策を講じており、税制の抜本的な改革を踏まえて、経済の成長に向けた施策が実施中です。

借金の解消、社会保障費の増大に対処するに消費税を上げるとは必要であり、この法律の公布後、経済状況の最終判断が行なわれ、消費税の引き上げに対処すれば委員会に於いて決した、「趣旨採択」が妥当と考えます。

委員会活動から

福祉教育常任委員会

請願審査

国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願

請願者

辰野町公立学校教職員組合

代表者 前原 修

紹介議員 熊谷 久司

現在、35人以下学級の推進状況は、小学校1年生までは法律改正により実現されているが、小学校2年生から中学校3年生までは都道府県ごとに国の加配措置を利用するなどしてそれぞれ進めています。小学校2年生以上は法律の裏付けがないため、本来配置されるはずの専科教員が配置されなかつたり、学級増に伴う教員数を臨時任用教員の配置により対応するなど課題が残されています。

この請願は平成26年度の国の予算編成にあたり、国の責任による35人以下学級

の推進と教育予算の増額を求めているものです。

審査内容

義務教育の現場において一人ひとりの子供に十分目が届かないため生徒だけでなく教師の側にも多くの問題が生じている。本県のめざす30人規模学級の早期実現を望み、それに伴う予算の増額を要請するものであり、全員一致で採択とし、国への意見書提出と決しました。



「義務教育費国庫負担制」の堅持を求める請願

請願者

辰野町公立学校教職員組合

代表者 前原 修

紹介議員 熊谷 久司

この請願は、2006年から義務教育費の国庫負担が2分の1から3分の1になり、税源移譲がされたことに伴い、義務教育費が県の財政を大きく圧迫し続けて、都道府県、市町村による教育環境の格差ができてしまい、住んでいる地域によって教育の質の差が出てきていることから。

1 教育水準の最低保証を担保するために必要な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元すること。

2 国庫負担から既に除外した教材費、旅費などを還元すること。

審査内容

義務教育費国庫負担比率が2分の1から3分の1に引き下げられたため地方では財政状況が悪化し、交付税措置はされるものの十分

ではなく全国に格差が生じています。教育の機会均等を図るべきと全員一致で採択とし、意見書を国に提出することに決しました。

陳情審査

違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情

陳情者

NPO法人日本法輪大

法学会中部地方担当

西村 麗子

この陳情は、臓器移植の目的で中国に渡航することを禁止し、法輪功学習者に対する臓器狩りを停止するよう中国当局に促すことを求めるものです。

審査内容

宗教上の問題であり、また中国の内政に関することです。その実態を調査把握することもできないということから全員一致で不採択と決しました。

以上3件の請願・陳情については、本会議において委員会審査のとおり可決されました。

臨時議会

3議案可決

5月1日に臨時議会が開催され、議会構成に先立つ本会議では、辰野中学校のトイレ改修工事の請負入札契約、小野地区の町道編入、川島地区の町道変更の3議案が原案どおり可決されました。



議員選出の監査委員を同意

5月14日臨時議会が開催され、矢ヶ崎紀男議員を町監査委員に選任する議案に同意しました。

町監査委員は2名ですが、そのうち1名は法律の規定により、議会議員の中から選任することになっています。

第4回 議会報告会



5月24日（金曜日）午後6時から、役場会議室において、第四回議会報告会を開催しました。

今回は、第3回までの土曜日と違い、平日の夜に開催し、内容についても、今までのような議会の取り組み状況に加えて、「道路問題について」と「福寿苑を含む旧辰野病院の後利用について」という二つのテーマについて、意見交換を行いました。

報告の概要については、議会ホームページをご覧ください。今号では二つのテーマについて、意見交換で出された意見についてお知らせいたします。

道路問題について

道路問題については、4人の方々からご意見をいただきました。その概要と議会の答弁は次のとおりです。

意見 辰野町の道路行政が大変停滞しているように感じます。町がプランをきちんと持っていないと道

路は絶対にできないと思います。議会も勉強して、地域住民と協力し、パイパス問題が早く実現するように協力してほしい。

答弁 町に積極的に提案していきたいと思っています。

意見 伊北インター周辺の状況を議会としてそれぞれの時間帯に視察していただきたい。

答弁 ご指摘の現場を見ることや、先進地視察を実施する予定です。

意見 天竜川の管理道路を活用する方法を考えてほしい。

答弁 今後の課題として検討していきたい。

意見 下辰野の松尾峠から衛生センターまでの下辰野側の道路（町道4号線）は、ドロドロのような状況となっています。今後の対策についてどのような考えがあるのかお聞きしたい。

答弁 今後勉強していきま

旧病院・福寿苑の後利用について

旧病院・福寿苑跡地利用については、参加者からは次のような質問を受けました。

意見 5〜6年前にワークシヨプで病院の移転が建て替えを検討した折、西病棟は耐震構造のため、厨房を含めて残り、福寿苑は残すということでした。

旧病棟の耐震でない所は更地にして地権者に戻す。それを前提に移管場所や金銭的な問題、算定した経緯があります。いつから全面更地化するか福寿苑は平成会に移管するとなったのですか？

答弁 この件について一般質問した議員が次のような説明を致しました。

「私もワークシヨプに出ていましたので、おっしゃるとおりですが、その後の状況変化を踏まえた政策変更であり、議会として説明を受けたことは確かです。」

今後、病院跡地は地権者との話し合いで農地に戻して返すのか、宅地化等他の有効利用を求められるのか、今後の進捗状況を情報開示して住民に知らしめるべきと思います。又、福寿苑については、町の財政負担等のあり方のなかで大きく計画が変更されたことで、入居者全員を最優先で平成26年度に民間に引き継ぐとしています。」

また、参加者から以下のような要望が出されました。

意見 病院跡地は伊那市の中央病院跡地に社会福祉協議会が入り中心的な福祉ゾーンとして、とてもよい場所になっていますので、辰野町も是非、皆が心を寄せられるような福祉ゾーンにしたいと思っています。

答弁 今後、議会として、地権者の要望や住民ニーズ等を踏まえて、有効利用について検討してまいります。

議会報告会

アンケート結果

(抜粋)

議会報告会について

○現場視察をしての感想を含めた報告がほしい。

○若い人が参加するようPRを含め傍聴・報告会を工夫して意見を吸い上げてほしい。

○議会が身近に感じない理由として議会の動きが断片的にしか伝わってこない、重点的な活動とその成果が見えない。一方で地元議員から定期的に報告をもらっている。

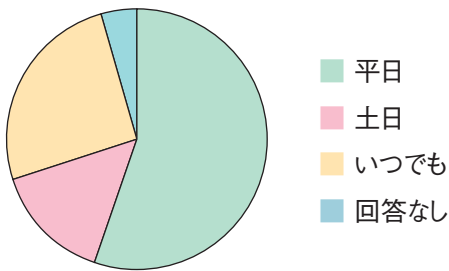
○初めての出席でしたが議会に興味を持ちました。
○大勢の方が出席され住民の議会に対する期待の高さが伺えました。

議会だよりについて

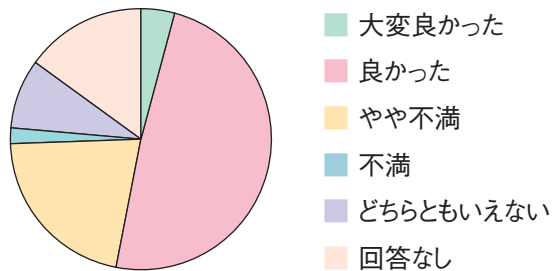
○質疑応答の概要及び議員個々の賛否状況を載せてほしい。

○一般質問の質疑応答の掲載より、その後の展開を載せてほしい。

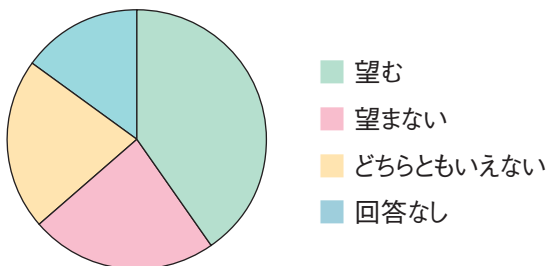
今回平日開催ですが、曜日はいつが参加しやすいですか？



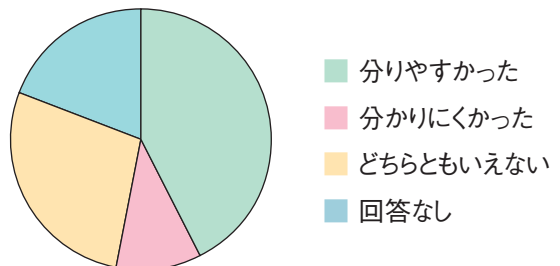
議会報告の内容はいかがでしたか？



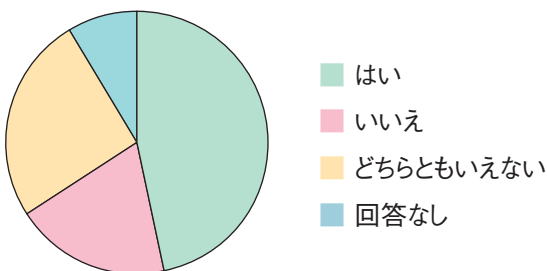
議会だよりに一般質問の質疑掲載を望めますか？



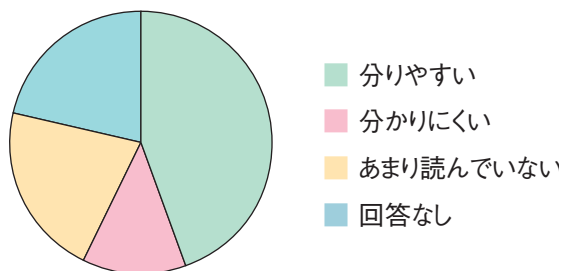
議会報告の資料はいかがでしたか？



議会を身近なものに感じてますか？



議会だよりの内容についていかがですか？



編集後記

新しい広報委員による議会だより第一号をお届けします。今回が第50号となりますが、次号から紙面の充実・改善に取り組む方針です。その目玉は、一般質問の掲載です。

前任の編集委員会で一般質問を掲載する方向が出され、過日の全員協議会でも確認されたことから、準備に入っています。

その一環として、6月26日には、すでに議会だより一般質問を掲載し、議会広報としての評価も高い、南箕輪村議会と飯島町議会を視察しました。とても参考になることが多く、次号から一般質問の掲載を含めて紙面の改善を図り、町民のみなさんに読まれ、わかりやすい議会だよりの発行に努めてまいりますので、ご支援よろしく願います。

